

令和8年度 第1回都島区区政会議 会議録

1 日時 令和8年6月16日（火）午後7時から午後8時47分まで（うち、午後7時21分から午後8時17分まではグループでの意見交換のため一時中断）

2 場所 都島区役所 3階会議室

3 出席者

（区政会議委員）

臼井委員・久保委員・雲井委員・鮫島委員・辻坂委員・中村委員・西委員・播委員・村上委員・本居委員・薮上委員・高見委員・山中委員・下川原委員

（都島区役所）

藤岡区長・森副区長・世古口総務課長・西山政策企画担当課長・鹿倉政策共創担当課長
西本市民協働課長・中尾防災安全担当課長・藤本窓口サービス課長・田村保健福祉課長
松井こども教育担当課長・笠谷生活支援担当課長

4 議題

令和7年度運営方針の自己評価について

（報告）

都島区まちづくりビジョン 2040（案）パブリック・コメントの実施について

6 会議次第

（1）開会（藤岡区長挨拶）

（2）議事

【世古口課長】

委員の皆様には、お忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。定刻となりましたので、これより令和8年度第1回区政会議を始めさせていただきます。

本日の司会を務めさせていただきます総務課長の世古口でございます。どうぞよろしくお願いいたします。これよりは、着座にて失礼させていただきます。

それでは、初めに区長の藤岡よりご挨拶させていただきます。

【藤岡区長】

皆様、こんばんは。藤岡でございます。

平素より、市政、区政の推進に当たりまして、格別のご理解、温かいご協力をいただきまして厚くお礼申しあげます。本日は、大変ご多用の中、令和8年度第1回都島区区政会議にご出席いただきまして誠にありがとうございます。

また、議員の皆様におかれましても、お忙しい中、ご参加いただきましてありがたく存じます。

さて、本日の区政会議では議題といたしまして、令和7年度運営方針の自己評価についてご報告させていただきます。皆様からご意見を頂戴したいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。区の出組を振り返りまして、よりよい区政運営につなげていくため、成果の実感、そして今後強化すべき点など、委員の皆様から、それぞれのお立場からご意見を頂戴できればと考えております。

また、その後、報告事項といたしまして、都島区まちづくりビジョン2040（案）パブリック・コメントの実施について、ご報告をさせていただきます。これまでの区政会議におきまして、ビジョン2040の骨子案について、委員の皆様からさまざまなご意見をいただいております。そして、検討を進めてまいりましたが、このたび、案を取りまとめましてパブリック・コメントを開始いたしましたので、その内容と進め方についてご説明をさせていただきます。

委員の皆様からいただくご意見、今後の区政運営、そして将来の都島区のまちづくりを進める上で、大変重要な指針となってまいります。限られた時間ではございますけれども、広く闊達なご議論をいただきまして、実りある会議となりますように、どうぞよろしくお願い申し上げます。

【世古口課長】

ここで、委員の皆様には会議の進行につきましてお願いがございます。

議事録等の作成のため、事務局で会議の様子を録音、撮影させていただいております。また、本日の会議はインターネット配信を行っております。以上、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

それでは、定足数の確認をさせていただきます。本日の会議には、委員定数18名のうち13名が出席しております。定足数を満たしておりますことをご報告いたします。

なお、1名遅れてお越しになられるということで連絡を承っております。

また、山野委員、浦出委員、松村委員、三木委員におかれましては、本日ご欠席の連絡をいただいておりますので、ご報告させていただきます。

続きまして、資料の確認をさせていただきます。

事前にお送りしていた資料として、右肩に資料1-1と記載しております令和7年度運営方針の自己評価について、右肩に資料1-2と記載しております令和7年度都島区運営方針（共通様式）、右肩に資料1-3と記載しております令和7年度都島区運営方針（説明資料）、右肩に資料2-1と記載しております大阪市ホームページ「都島区まちづくりビジョン2040（案）」についてパブリック・コメントを実施します、右肩に資料2-2と記載しております都島区まちづくりビジョン2040（案）、当日机上配布資料としてグループでの意見交換について、以上が本日の資料となります。不足がございましたらお配りしますので、挙手をお願いいたします。大丈夫でしょうか。よろしいですか。

続きまして、ここで本日のタイムスケジュールについて簡単にご説明させていただきます。

まず、次第のとおり、区役所から今回の議題であります議題（1）令和7年度運営方針の自己評価について、ご説明させていただきます。

次に、各グループに分かれて意見交換を行っていただきます。グループでの意見交換は、移動、休憩も含めて55分程度と予定しております。

その後、再び今のお席に戻っていただき、全体会を再開いたします。その際は、各グループで出された意見をご報告いただき、それを踏まえ、全体での意見交換をしていただきます。

その後、都島区まちづくりビジョン2040（案）パブリック・コメントの実施についてを区役所からご報告させていただきます、皆様からのご質問などをお受けいたします。

終了は21時を予定しております。円滑な進行にご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

続きまして、本日ご出席の議員の皆様をご紹介します。

大阪市会より、荒木議員でございます。

【荒木議員】

荒木です。どうぞよろしくお願いいたします。

【世古口課長】

なお、大阪市会岡田議員並びに大阪府議会魚森議員におかれましては、公務のためご欠席のご連絡をいただいております。大西議員に関しましては、ご出席いただき次第、お席に着いていただきます。

それでは、これより久保議長に議事運営をお願いいたします。

【久保議長】

改めまして、皆様、こんばんは。本日も活発なご議論を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、早速ではございますが、議題に入っていきたいと思います。

まず、議題（1）令和7年度運営方針の自己評価について、事務局よりご説明をお願いします。

【西山課長】

皆様、こんばんは。事務局を担当いたしております政策企画担当課長の西山でございます。どうぞよろしくお願いいたします。失礼ながら、座って説明をさせていただきます。

それでは、議題（1）令和7年度運営方針の自己評価についてご説明いたします。

資料につきましては、資料1-1、令和7年度運営方針の自己評価について、資料1-2、令和7年度都島区運営方針（共通様式）、資料1-3、令和7年度都島区運営方針（説明資料）、3点ございますけれども、資料1-2及び資料1-3を取りまとめた資料が1-1となっておりますので、資料1-1に基づきご説明を行います。

本資料は、令和7年度運営方針に掲げた各経営課題について、1年間の取組を振り返り、アウトカム指標の達成状況などを基に自己評価として整理したものでございます。

なお、アウトカム指標の実績や今後の方針につきましては、2ページ目以降に経営課題ごとに掲載をいたしております。

1ページをご覧ください。

初めに、1年間の取組成果と振り返りの概要です。経営課題ごとに設定した10項目のアウトカム指標について評価を行った結果、9項目で目標を達成し、1項目が未達成となりました。令和7年度は、将来ビジョン2025に基づき「安心のまち、人がつながるまち、明日に誇れるまち」の実現に向けた取組を推進してまいりました。今後、令和7年度末に策定をいたしました都島区将来ビジョン2030が掲げる、めざす将来の姿である「安全・安心のまち、人がつながり・いきいきと暮らせるまち、子どもが輝くまち、明日に誇れるまち」の実現に向け、これまでの成果を継続・発展させるとともに課題への対応を一層強化してまいります。

それでは、資料の2ページ目以降に沿って経営課題ごとにご説明いたします。

2ページをご覧ください。

経営課題1、安全・安心のまちづくりについて、まず、1-1、防災のまちづくりです。アウトカム指標、災害への備えの重要性の啓発につながる取組は、目標50回以上に対し、実績71回で達成しています。都島区の地域特性や在宅避難をテーマとした「都島区防災BOOK」を作成し、区内全戸に配布することで災害時の備えへの意識向上に努めました。また、地域や学校園を対象とした出前講座・防災授業・防災訓練・イベントなどを通じて啓発を継続し、自助・共助の重要性の浸透を図りました。今後も、区民や企業等への働きかけを継続し、災害への備えの実践につなげてまいります。

次に、1-2、防犯のまちづくりです。アウトカム指標、警察と連携した犯罪抑止や交通安全の重要性の啓発につながる取組は、目標10回以上に対し、実績13回で達成しています。引き続き、警察や地域と連

携し、交通ルールの遵守や犯罪に巻き込まれないための意識向上に向けた啓発を継続してまいります。

次に、1-3、安全で美しいまちづくりです。アウトカム指標、新！都島クリーン作戦に参加した団体は、目標10団体以上に対し、実績18団体で達成しています。地域や企業等と連携した清掃活動を継続し、環境美化意識の醸成に努めました。今後も、清掃活動を通じた意識啓発に加え、路上喫煙の禁止や客引き行為の適正化に向けた啓発や情報発信に取り組んでまいります。

3ページをご覧ください。

経営課題2、人と人がつながり、助け合うまちづくりについて、まず、2-1、コミュニティ豊かなまちづくりです。アウトカム指標は、まちづくりアンケートにおいて、地域活動協議会に対して地域の実情やニーズに即した支援を実施していると思うと回答した地域数で、実績は全9地域となり、目標を達成しています。若い世代との共創の観点から、区民まつりのプレイベントとしてストリートダンスコンテストを実施し、若年層の参加のきっかけづくりを行いました。また、広報誌や区ホームページなどで毎月1回以上、地域活動に関する情報発信を行い、理解促進にも努めました。今後は、地域活動を通じたつながりの機会提供のあり方の検討や、町会加入促進、担い手の拡大に向けた取組を進めてまいります。

次に、2-2、いきいきと健康に暮らせる福祉のまちづくりです。アウトカム指標、地域包括支援センター・ブランチと連携した件数は、目標年間6,000件以上に対し、実績4,470件で未達成となりました。未達成となった主な要因は、令和7年8月から算定基準を見守りに関連する連携件数に限定して整理したことにより、従来より計上件数が減少したためでございます。一方で、区内全9地域に地域福祉コーディネーターを配置し、見守り活動や相談支援を継続するとともに、介護保険申請のサポートなど支援内容は拡充しております。今後、独居高齢者の増加も見込まれることから、関係機関と連携し必要な支援に取り組むとともに、地域福祉コーディネーターの認知向上に向けた周知を進めてまいります。

次に、2-3、安心して子育てできるまちづくりです。アウトカム指標、子育て支援室の相談件数は、目標延べ500件以上に対し、実績1,111件で達成しています。臨床心理士をはじめとする専門職員を配置し、子育てに支援を求める保護者のさまざまな悩みに対応できる相談体制の充実に取り組みました。今後も、子育て世帯が孤立しないよう、地域の子育て情報や相談窓口の周知等を行い、必要な支援を実施してまいります。

4ページをご覧ください。

経営課題3、明日に誇れるまちづくについて、まず、3-1、魅力あるまちづくりです。アウトカム指標、区ホームページの「都島区の魅力」コンテンツ閲覧数は前年度実績以上を目標とし、実績9,483件で達成しています。区民等参加型の「都島区魅力フォトコンテスト」を実施し、受賞作品を活用したカレンダー作成や庁舎内展示により、区の魅力発信を強化いたしました。今後も、都島区の自然環境や歴史文化、地域資源を生かした魅力創出・発信に取り組んでまいります。

次に、3-2、未来の都島を担う人材育成です。アウトカム指標、区内小中学校長へのアンケートにおいて、区が行う教育関係事業に効果があったと回答した割合は、目標70%以上に対し、実績90%で達成しています。区内全地域に「ほうかご学習ひろば」を開設し、子どもたちの居場所づくりを進めました。また、「みやこじま未来会議」の開催や情報リテラシー教育事業などに取り組みました。引き続き、子どもが明るく健やかに成長できるよう、教育環境の向上に向けた取組を進めてまいります。

5ページをご覧ください。

経営課題4、区役所力の強化について、まず、4-1、区民の声が区政に反映される仕組みづくりです。アウトカム指標、区政会議に関するアンケートにおいて、区役所や委員との間で活発な意見交換がなされていると回答した委員の割合は、目標90%以上に対し、実績100%で達成しています。区政会議、区民アンケート、出前講座などを通じて、多様な区民の意見やニーズの把握を行いました。また、区政会議ではグループでの意見交換を導入し、委員間の議論の活性化や多様な意見の把握につなげました。今後、区民の声の把握と区政への反映、効果的な情報発信に取り組んでまいります。

次に、4-2、区民が満足・納得できる区役所運営です。アウトカム指標、「区役所来庁者等に対するサービスの格付け結果」では、全ての調査対象窓口で評価点3.5以上を達成しており、目標達成となっています。接遇研修の実施方法を見直し、集合研修やeラーニングに加えて、実地指導研修を強化することで職員全体の接遇力向上に取り組みました。あわせて、ICT活用によるペーパーレス会議や各課でのカイゼン活動により、業務の効率化にも取り組みました。今後も、接遇力向上と業務改善を一体的に進め、区民が満足・納得できる区役所運営の実現に努めてまいります。

以上が、資料1-1に基づく令和7年度運営方針の自己評価の説明です。指標全体では10項目中9項目で目標を達成し、多くの分野で取組の成果が確認できました。一方で、福祉分野の指標については未達成となっておりますが、引き続き、関係機関との連携や支援体制の充実に取り組んでまいります。

本件につきましては、委員の皆様からご意見を頂戴し、今後の区政運営や取組の改善につなげてまいりたいと考えております。

説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

【久保議長】

西山課長、ご説明ありがとうございました。

それでは、ここで全体会を一旦中断いたしまして、ただいまのご説明を踏まえてグループでの意見交換に入りたいと存じます。では、事務局からご案内をお願いいたします。

【世古口課長】

グループ討議につきましては、前回と同様に2つのグループに分かれていただき、ただいま説明のありました議題（1）令和7年度運営方針の自己評価について、意見交換をしていただきます。意見交換を

いただく項目については、机上配布資料、グループでの意見交換についてをご参照ください。

また、同じ部屋で一斉に議論を始めると、周囲の音が気にかかると思われますので、後ほど区役所職員の誘導に従って、人がつながり・いきいきと暮らせるまち、子どもが輝くまちグループは別の会議室に移動していただき、グループでの意見交換終了後にこちらにお戻りいただくことになります。

グループでの意見交換は、都島区役所職員が司会進行させていただきます。意見交換の時間は8時5分まで、およそ40分程度を予定しております。

また、意見交換後、10分間で休憩及び各テーブルにおいて区役所の職員が意見交換の内容等を確認させていただきます。その後、全体会へのお席に戻っていただき、8時15分に全体会を再開する予定です。全体会で各グループの代表の方から意見内容を発表していただいた後、全体での意見交換といたします。

グループでの意見交換の進行方法について、何かご疑問点がございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、区役所職員がご案内しますので、人がつながり・いきいきと暮らせるまち、子どもが輝くまちグループの皆様は、お手元の資料をお持ちいただき、会議室にご移動ください。

(グループ討議)

【久保議長】

それでは、皆様、お戻りでしょうか。

では、これからグループでまとめられたご意見をお聞かせいただければと思います。

まずは、安全・安心のまち、明日に誇れるまちグループからお願いします。副議長、お願いします。

【薮上副議長】

グループA安全・安心のまち、明日に誇れるまちグループの意見交換について発表をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

今回、グループAでは、ワークシートを用いて皆さんとお話をさせていただきました。

まず、今回ありました今回の運営方針の自己評価について、まず、安全・安心のまちづくり、プラス、明日に誇れるまちづくり、それぞれ主に4つの重点項目というところ、項目があったのですが、その自己評価の中で、今大事だと思えるものをそれぞれ発表していただきまして、主に、重点的に取り組んでいったほうがいいのではないかとというところで、3つピックアップをさせていただきました。

まず、1つ目が、重点1といたしまして防災についてでございます。こちらは、自己評価のところ、経営課題1、安全・安心のまちづくりの1-1、防災のまちづくりの観点でございます。

こちらについては、委員の皆さんからそれぞれ意見が出た中では、例えば小学生、学校で防災の授業をしたときに、小学生が地図が読めないですとか、例えばマンションにお住まいの方で、エレベーター

が止まったときにどうすればいいのかとか、あとは、共助をするための担い手がないとか、そういうところの課題が挙がりました。それに伴いまして、やはり区としても自助・共助の取組強化に努めていくべきではないかという意見が出ました。

こちらにつきましては、非常にいろんな意見が出まして、自助をどの年代が取り組むのか、共助は誰が対象になるのか、話がまとまらなかった部分もありますが、例えば、そういうところにテクノロジー活用の観点で、例えば防災のアプリや、そういうところに区独自のものを入れたりとかして、実際に他区では、そういった取組をやっているということも意見として出ました。都島区として、そういうところも活用していくことが非常にいいのではないかという意見も出ました。

2つ目に、防犯のところ、こちらは全般として防災にもつながっていくところにはなりますが、防犯に関わる人材の担い手不足というところが、課題としてあるというところが全般の意見として出ました。

例えば見守り活動や、最近は高齢者の方を狙った特殊詐欺犯罪もかなり件数としては増えていますので、そういうところに対策を、手を打つ人材であったり、あとはツールをしっかりと強化していく、そこに対して、不足しているところに対して強化をすることが課題なのかなというところで、重点2とさせていただきます。

重点3といたしまして、安全・美化というところになります。こちら、区役所でもかなりお声として挙がっているところはお聞きしています。例えば、路上喫煙は大阪市内は全面禁煙に今なっていますが、喫煙所の設置が区内全体として追いついていないというところが意見として挙がりました。

例えば、京橋エリアは喫煙スペースがしっかりと確保されているものの、京橋駅以外を見ると、喫煙スペースをしっかりと確保できていないというところ。今、条例が非常に先立っていて、対策が追いついていない、吸ってはいけないところで吸ってしまうことも非常に多いということで、安全・美化の課題が重点3として挙がりました。

本来は、ここの3つの重点課題に対しまして、誰が、何を、いつまでに実施するというのを今日この場でお伝えできればなと思っていましたが、時間の関係上、そこまでまとまりきれませんでしたので、課題として挙げました重点課題の3つの項目について、区役所の方と本日は認識合わせをしまして、双方認識があるということでお話が終わりました。

そのほか、課題として挙がりましたが、これからさらに話を煮詰めていかなきゃいけないとなったのが、例えば、安全・美化のところで、地域によって倒木の対策がしっかりとできていないことも例として挙がりましたので、今後の課題として協議をしていただければと思います。

まとまりきれませんでしたが、もし補足がありましたら、区役所の皆さん、よろしくお願いします。

【西山課長】

藪上副議長、ありがとうございました。

おおむね、おっしゃるとおりということでございまして、もっとテクノロジーを使ったらいいというような、防災アプリを使ったらいいということ。魅力づくりは今日は重点課題にはなりませんでした、役所もやっているのだが、もっと広報連携ということで、専門家や、インフルエンサーのような専門家とか、そういった方々も活用すれば、見る人も増えるし、いいのではないかとということ。

それと、防災、防犯にも関わってくるが、若い世代の担い手というところもある中、例えば今、各区内の学校でも、高校の探究授業で、ごみの問題や高齢者介護の問題というところで、高校生が授業の一環としてやっているというのもあるので、そういうところも巻き込みながらやっていけば、より一層効果的な施策につながっていくのではないかとのご意見もあったところでございます。

以上でございます。

【久保議長】

ありがとうございました。

では、続きまして、人がつながり・いきいきと暮らせるまち、子どもが輝くまちグループの意見の報告をさせていただきます。

まず1つ目、2-1、コミュニティ豊かなまちづくりのところでございます。

コミュニティを担う担い手が不足しているというご意見がありまして、それに対して、区の中の企業さんとかに対する働きかけがあるのかというご質問がありました。現在、行われている連携についての説明が区役所からあった後、実際には、盆踊りをしようと思っけていても、来たい人はいるが、それを担う人がいないということで、ぜひ、そういう地域のイベントであつたり、その中に企業や学校も巻き込む仕掛けをつくってもらえればありがたいという意見がありました。

続きまして、2-2、いきいきと健康に暮らせる福祉のまちづくりという点です。

こちらは、地域福祉コーディネーターの方からもご意見がありました。実際、相談に来られる方というのは、ご本人というよりは周りの人たちや家族の確率が高いということでした。理由には、頼りたくないとか、自分では必要だと思っけていないという方が多いということでした。それに伴い、コーディネーターというものの存在の周知も非常に難しく、現時点では口コミにとどまっけているということでした。支援の難しさとしましては、支援を拒否される方が多いということ、今、見守りの状況が多く、そこに支援の難しさがあるというご意見でした。

続きまして、2-3、安心して子育てできるまちづくりというところですが、こちらでは、子育て支援室に来た件数のみならず、どのようにしてここにたどり着いたかという経緯を知ることによって、いろいろの支援を届ける、その裾野を広げることができるのではないかとのご意見がありました。

それに関連して、1つのアイデアが出ました。PTAの会長さんですが、実際、PTA、教育に関連することだけではなく、まちを歩いていたら全く関係のない質問や相談を受けることがあるということで、その

窓口にとどり着くまでの一歩手前のところの存在というのが重要なのではないかと、必要なのではないかと話がありました。例えば、PTAの会長や地域の役員をされている方々に、さまざまな支援の窓口の情報が共有できるような仕組みづくりをしていただけないかという話でした。区役所からも、区役所へのアプローチできるハードルを下げる努力をしていきたいということでした。

ですので、その話のまとめとしましては、実際には、その数という問題、ここの2-3のところも目標500件でしたけど、1,000件、倍になって増えている。増えるということはいいことですが、ここで測りづらいもの、つまり、本当に必要な人に支援が届いているのかどうか、こういうことを測っていくためには、人と人とのつながりで、どのようにしてこの窓口へつないでいけるかを可視化できるような形で、今後進めていくことが必要なことではないかということで、継続的な課題であるというご意見でした。

以上です。

それでは、時間がございますが、先ほどの質問の回答をお願いしますでしょうか。こちらのグループで、1つ全体に関連するご質問がありました。アウトカム指標以外での評価の基準があるのかという、計量的なものだけではない基準がありますかというご質問が出ましたので、回答をお願いいたします。

【西山課長】

政策企画担当課長、西山でございます。

運営方針等については、オール大阪の方針で指標を設定ということで、このアウトカム指標というのを設定しておりまして、行政としては、まず、このアウトカム指標というのは、施策や事業の成果というのを把握するための成果目標として一定必要であるというふうに認識をしているところでございます。

ただ、一方で、行政課題の解決でありますとか、地域の実情とか、地域の活性化というのは、数値だけでは十分に測れない側面というのものもあるのも現実だと思います。そのために、ここで設定しているアウトカム指標というのを活用して効果検証も行いながらも、指標の達成そのものを目的化することではなく、一方で、ほかに区民アンケートでありますとか、イベント、あるいは研修といったところでの当事者を対象としたアンケート、こういったことも活用しているところです。また、地域団体からの意見聴取なども活用して、区民の皆様の声でありますとか、地域の実情というのを我々行政としても把握をしながら、アウトカム指標だけではなく、多角的な視点で施策を実践していくことが重要であると考えているところでございます。

以上でございます。

【久保議長】

ありがとうございました。

本来でありましたら、意見交換、質疑応答させていただきたいところでございますが、時間となって

おりますので、次の議題に進めさせていただきます。申し訳ございません。

続きまして、都島区まちづくりビジョン2040（案）パブリック・コメントの実施につきまして、区役所よりご説明をお願いします。

【鹿倉課長】

政策共創担当課長の鹿倉でございます。

私から、資料2、都島区まちづくりビジョン2040（案）パブリック・コメントの実施について、ご報告をさせていただきます。着座にてご説明させていただきます。

まちづくりビジョンにつきましては、本年3月開催の令和7年度第4回区政会議において、（素案）抜粋版についてご説明をさせていただきました。そこでいただいたご意見等も踏まえまして、5月に本日資料としてお配りしております案を取りまとめ、5月18日から6月18日までの1か月間、パブリック・コメントを実施しているところでございます。

委員に皆様には、パブリック・コメント開始のタイミングでメール等によりお知らせをさせていただいておりましたところですが、本日改めてご案内をさせていただきます。

なお、パブリック・コメントの実施状況なのですが、本日の朝の時点で10通のご意見をいただいているところでございます。

なお、明後日18日までが期限となりますので、ご意見等ございましたら、ご意見等を書いていただいたものを窓口にお持ちいただくか、郵送、ファクス、メール等でご提出いただくということで受付をさせていただいているところでございます。

今後の予定ですが、いただいたパブリック・コメントについて取りまとめ等を行いまして、来月、7月中には案を取った形で正式に策定とさせていただく予定でございます。

以上、簡単ですが、私からのご説明とさせていただきます。

【久保議長】

ありがとうございました。

ただいまのご説明の内容につきまして、何かご質問はございますでしょうか。

マイクのほうをお願いいたします。お名前のほうをいただきましてから、お話をお願いします。

【臼井委員】

臼井です。よろしくお願いいたします。

パブコメなのですが、端的な質問で早く終わります。イエスかノーかという話になると思うのですが、前回のパブコメ、将来ビジョン2030のときには、ホームページで告知されて、広報誌にも掲載されて、その辺、今回も同じだと思うのですが、私の見落としですと一発で終わる話なのですが、将来ビジョン2030のパブコメのときに、通りにある大阪市の広報掲示板に案内が貼られていたのを見たんですね。今

回のパブコメに関しては、その案内が、私の見落としでなければ、同じ掲示板なんですけど、貼られていなかったんですよ。何か違いがあるのか、意図があるのか、あるいは、ただ私の見落としなのか、そこを確認させてください。

【鹿倉課長】

鹿倉です。

ご指摘のとおり、今回のパブリック・コメントについては、区内の広報板には掲示をしてございません。特に決まりとか意図があるということではなくて、広報の手法として、今回は広報誌でありますとかホームページ、あとSNS等を使って周知をさせていただいているところでございます。

【臼井委員】

分かりました。理解いたしました。

率直な感想としては、前貼ってあったところに貼っていなかったから、これ、周知という意味では、何で貼っていないんやろうと、貼っていたほうがいいのになと感じましたので、これは意見として、ぜひ今後も、もしやられるのであれば、広報板、どんどん活用していただけるといいと思います。

以上です。

【鹿倉課長】

承知しました。

【久保議長】

ありがとうございました。

ほかに、ご質問、またご意見はございますでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。

それでは、続きまして、本日ご出席いただいております荒木議員からお言葉を頂戴できたらと思います。よろしくお願いいたします。

【荒木議員】

大阪市会議員の荒木でございます。

突然でしたので、全くコメントをご用意していなかったのですが、まず委員の皆様、そして職員の皆様、長時間にわたっての非常に真摯なご議論をありがとうございます。皆様のご意見をしっかり区も受け止めていただいて、今後の区政運営に生かしていただきたいと思っております。我々も、地域の皆様の声を大阪市政へ反映させるための窓口といいますか、そういう場をもって大阪市政の運営のために資するといいますか、進めていきたいと考えておりますので、さまざまなご意見を私どもにもお寄せいただけたらと考えております。

1点だけ。先ほど、自分、この部屋で聞いておりましたので、安全・安心のまちづくりでの議論の中で、路上喫煙の関係が議論されておりました。議員という立場でもって、一言だけ申し上げておきたいな

と思うのですが、路上喫煙につきましては、いわゆる万博が大阪で開催される前ということで、昨年
1月27日から大阪市内は路上喫煙禁止になっております。

ただ、その施策を進めるために、万博前から取り組まれたので、現実的には、先ほどの議論もありま
したように、大阪市内、特に都島も含めて喫煙できる場所が提供されていないという状況は我々も十分
認識しております。そして、現実には喫煙される方にしましたら、もう1年半以上たっているのですが、ま
だ現実には喫煙できる場所が非常に少ないということで、大阪市議会のほうにも陳情、請願というのを寄
せられております。非常に長期にわたって幾つもの場所から、多くの方からそういうご意見が出ておる
のですが、現実的には、その対応が後手後手に回っておるかなと考えております。

行政でやっていくために、予算があり、実際、契約のための手続とか、時間がかかるというのは理解
できるのですが、我々は、できるだけ早く路上喫煙ができるような場を提供していったって、より簡易なも
のでも用意していったって、時間をかけながら十分充実した施設に替えていくべきかなと提案しておるの
ですが、大阪市の行政のほうは、しっかりとしたものをつくりたいのという言い方で、現実には今年度も
予算措置されているのですが、実際、今年度の予算措置しても、実際、その喫煙所ができるのは来年の
春以降になってしまうという感じで、非常に時間がかかっております。やはり行政、この辺は反対に区
役所も含めて、区役所が直接じゃないのですが、現実には路上喫煙なんかの対策については非常にスピー
ド感がないような状況かなと認識しておりますので、その辺は、できるだけ区としても地域の声を反映
していただいて、施策を進めていただきたいなと思っております。

言い方を換えますと、大阪市内で、喫煙、いわゆるたばこ税、約300億、大阪市の収入になっておりま
す。これは今まで一般財源ということで、全て大阪市の市民税とかそういう税金と同じような形の取扱
いになっておりましたので、目的税ではないので、たばこのために使う目的税ではないのですが、大阪
市内でのいわゆる税として300億もあるのですが、この喫煙所に使われるのは数十億だったと。数字は
はっきり覚えていないのですが、その程度でございます。重点的に大阪市としても、初期投資ではな
いですが、どんどん喫煙所の充実のためにお金を、税金を使われるべきではないかなと思っておるの
です。議会なんかではそういう立場で質問をして、しっかりと取組はしますと答弁されているんですが、
なかなか取組が進んでいないと思っております。

これからも、委員の皆様のいろんなご意見を区のほうで出てきたら、予算化に向けて、あるいは事業
化に向けて、ご検討いただけたらなと思っております。感想とともに愚痴っぽい話になってしまいまし
たが、我々も地域の皆様のお声を聞きした上で行政に反映していきたいと考えておりますので、今日の
皆様に対するご挨拶にさせていただきます。

今日は一日、本当にご苦労さまでした。ありがとうございます。

【久保議長】

荒木議員、ありがとうございました。

それでは、最後に藤岡区長から一言ご挨拶をいただきたいと思います。お願いいたします。

【藤岡区長】

皆さん、長時間にわたり貴重なご意見を本当にありがとうございました。皆さんの都島区に対する熱い思いを受け止めております。私たち、今日の議論を真摯に受け止めて、まずは課題の提起、そして共通認識もたくさん持てたと思っておりますので、これから皆さんと共に、できることを考えながら区政を進めていきたいと思っております。

私、今日はグループAに参加をさせていただいたのですが、その中で幾つか、大事なキーワードがあったと思っております。自助、共助、公助という中で、それぞれ区民の皆さんが一人一人で行えること、取り組みやすい環境、そして、また啓発等々に区役所としても皆さんと協力しながら進めていかないといけないとも思いますし、共助という中でいいますと、人のつながりの希薄化という社会的な全体の課題がございますよね。その中で、どうやって人と人とのつながりの可視化を進めていったらいいかというような、それぞれの立場で取り組めることを1つずつやっていきたいと改めて思ったところです。

もう一つ、区政のめざす姿というのを定めて取り組んでいっている中で、特に多様な主体の参画連携ということで、今日もお話に出ておりました民間そして学校との連携、それが私たちの暮らしの中で支えていく大事なキーポイントだと改めて思った次第なので、その辺りの連携に対する取組、それも積極的に進めていきたいと思った次第でございます。

また、テクノロジーの活用というところで、特にDX推進というところは大阪市も進めていくということで、私たちの区役所窓口も含めて、また働き方という点も含めていろいろと進めていっているところでございます。そういった中でも、今日、皆さんからそういった関係のたくさんのご意見をいただいて、改めて貴重なこと、キーワードを含めて、それを皆さんと一緒に進めていきたいと思った次第ですので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

本日は本当にありがとうございました。

【久保議長】

藤岡区長、ありがとうございました。

今回、こちらで1年間の振り返りを行ったわけですが、アウトカム指標の達成率が10件中9件であったということは、非常に高く評価できるのではないかと考えております。それは本当に区役所、そして区民の皆様のご尽力のたまものであり、今日、皆様、委員様のご発言されている姿を横から見ておりまして、本当にその熱意と、そして、それを見て頼もしさを感じております。その一つ一つが全てこういう形になったのではないかと考えております。

策定しました中長期ビジョンをいま一度掲げて、今後、達成したものに対しても、また未達成だった

ものに対しても、質とそれから量の向上を図っていくべく、行政、区役所とそして区民の皆様が一体となって、さらに試行錯誤しながら進んでいける、そのような形がさらに進めていければなと願っております。今後とも皆様のお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

それでは、本日予定しておりました議題につきましては全て終了いたしました。皆様のご協力で議事が円滑に進みましたこと、御礼申し上げます。ありがとうございました。

それでは、事務局にお返ししたいと思います。

【世古口課長】

本日は、議長、副議長をはじめ各委員の皆様におかれましては、長時間ご議論いただき誠にありがとうございます。

なお、後日、ご案内させていただきますが、令和8年度第2回区政会議は令和8年10月20日火曜日を予定しておりますことをお伝えします。

これで区政会議を終了させていただきます。本日は誠にありがとうございました。

以 上